

# 査読ガイドライン

京都府立医科大学附属病院看護部  
看護研究論文編集委員会

はじめに

この度は京都府立医科大学附属病院看護部看護研究論文集への投稿論文の査読依頼を承諾いただき、厚く御礼申し上げます。

本誌では、看護実践の担い手である臨床看護師達の気づきや学び、そして探求を研究としてまとめあげたものを掲載し、より広く公表することで看護の発展に寄与していくことを目指しています。

査読というと「査定」「審査」などのイメージが先行しますが、英語ではPeer Reviewと表記されますように、Peer（同僚、仲間）の立場で、その論文がよりよく理解され、多くの人に役立つ知識を明示していくことへのお力添えを頂きたいと存じます。

## 1. 査読の手続き

- 1) 査読依頼を承諾された者（以下査読者）は、査読基準に従って査読を行う。  
査読期間は3週間を期限とする。
- 2) 査読者の行う判定は、「採用」「修正後採用」「不採用」のいずれかを選択する。  
いずれの判定結果の場合であっても、査読票に意見を簡潔的・具体的・客観的に記載し、修正事項があれば具体的に記載する。（修正後の確認は看護研究論文編集委員会でおこなう。）  
査読者名は公表しないので、筆跡がわからないよう 査読票は電子ファイルで提出する。
- 3) 査読にあたり、査読者であることならびに査読に関する事項は他言しない。投稿論文の保管・管理など、投稿者への倫理的配慮をする。

## 2. 査読基準

- 1) 論旨・論拠の妥当性、明快性の評価
  - ・論旨の整合性がとれており、論理に飛躍がないか。
  - ・得られた結果についての解釈・意味づけが妥当に行われているか。
  - ・文献検討が十分に行われ、その内容が論文で活用されているか。
- 2) 研究方法の妥当性
  - ・目的に対して、適切な対象、調査・実験方法が選択できているか。
  - ・倫理的配慮が十分になされているか。
- 3) 表現、用語、関連文書引用の適切性
  - ・当該分野の適切な用語を適切に定義し、あるいは正確に用いているか。
  - ・初出文献等を明示し、引用した内容や部分が文中でわかる表現となっているか。

また、論文の種類ごとに各カテゴリーの必要性については次表（表-1）に示す。

表-1

論文の種類 カテゴリー	原 著	総 説	研究報告	実践報告・その他
独創性	必須条件		望ましい	
学術的価値	必須条件	必須条件	望ましい	望ましい
実践的価値				望ましい
信頼性・妥当性	必須条件	望ましい	望ましい	望ましい
倫理的配慮	必須条件	望ましい	必須条件	必須条件
論文形態	必須条件	望ましい	望ましい	

※カテゴリーについて

- 独創性： 新たな知見が得られており、独自の発想が認められる。
- 学術的価値： 学問としての発展に貢献できることが認められる。
- 実践的価値： 社会のために実践され、有用と認められる。
- 信頼性・妥当性： 研究目的を達成する手段が妥当であり、結果や提示内容が信頼できる。
- 倫理的配慮： 原著と研究報告については、倫理審査の承認番号を記載する。その他については、倫理的配慮がなされており、原稿中にその旨が明記されている。
- 論文形態： 系統的な論文構成であり、ページ数等が投稿規定に沿っている。